

広報

ひこね

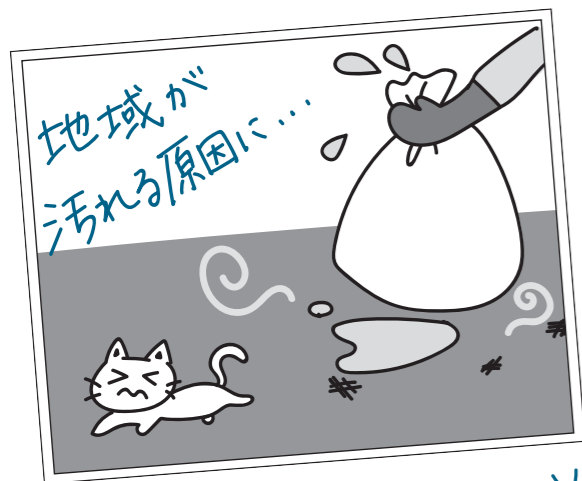


特集

正しく出そう
あなたのごみ



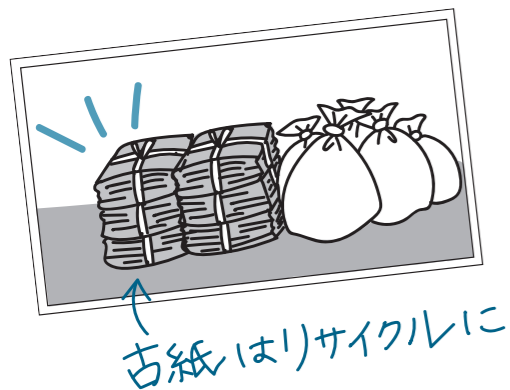
ごみの収集・分別 こうしたケースがあります



ごみの収集は、多くの人のご協力でスムーズに進んでいますが、一部で分別や出し方のルールが守られていないことがあります。

古紙は資源としてリサイクルできますし、スプレー缶は車両火災の原因にもなります。また、水分の多いごみは、積み込む時に汁が飛び出し、集積所や道路を汚すなど、悪臭の原因になります。

正しいごみの出し方は火災や衛生の点からも重要ですので、ご協力をお願いします。



火災原因の多くは
スプレー缶・ライターです



▶ごみ収集車が回収したごみの処理

回収したごみは雨清掃センターに持ち込まれ、その種類によって「燃やす」、「破碎する」、「選別する」、「圧縮する」などの中間処理が行われます。(埋立ごみは中山投棄場を中継し、民間の処分場へ搬出されています)

特に、資源物は正しい分別ができていないとリサイクルできないだけでなく、処理施設の故障にもつながることから、手作業で再度選別作業を行っています。



燃やすごみや粗大ごみとして持ち込まれる草や剪定枝は、異物(紙やビニールなど)を一つひとつ取り除き、堆肥化などを行っています。自治会清掃などで草を出す時は、土やごみを取り除いていただくと選別がスムーズに進みますので、ご協力をお願いします。

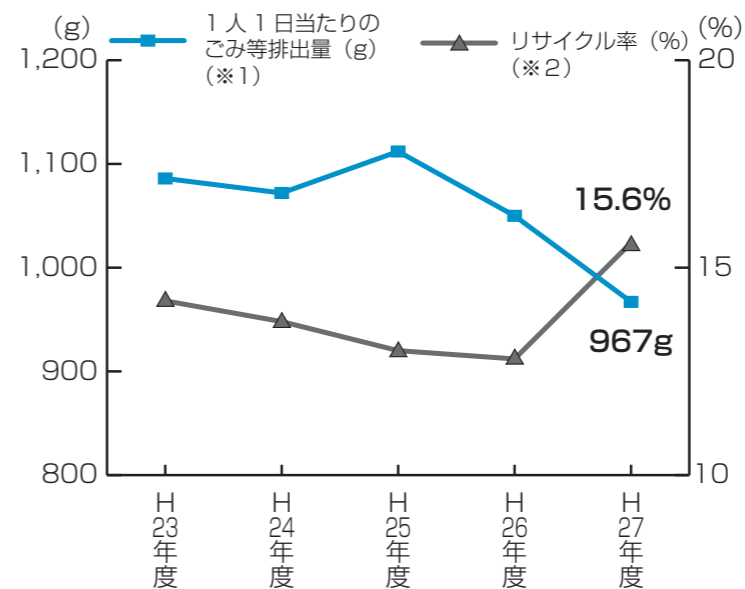
また、道路で刈られた草もリサイクルを進めていますが、ポイ捨てなどでごみが混ざるとリサイクルできなくなってしまいます。ポイ捨て防止にもご協力をお願いします。



朝8時半ごろ、約20台のごみ収集車のごみの収集に出発します。地域など取り決めた集積所に、各収集車が1台あたり100か所程度、毎日収集に向かいます。
道路状況や雪などの天候で回収が遅くなることもあります。また、清浄を保つため、収集作業を行っています。

家庭から出るごみは、清掃センターに集められ処理されます。(埋立ごみは中山投棄場)皆さんの協力により、正しいごみの出し方が徹底されることで、まちが清潔に保持され、ごみの減量や資源化が図られています。
しかし、一部正しく出されないこと

で、収集車両の火災などのトラブルが発生しています。
今回は、正しくごみを出すこと、ごみの減量や資源化について考えてみましょう。
問い合わせ先 雨清掃センター ☎22・2734番、FAX 24・7787番



彦根市の「ごみ等排出量とリサイクル率」
近年、彦根市の1人1日あたりのごみ等排出量は減少傾向で、平成27年度は967グラムに削減することができました。しかし、全国平均の947グラム(平成26年度)に比べると、まだ多い状況です。
また、リサイクル率は15.6%に向上しました。(平成26年度の全国平均は20.6%)

※1 年間のごみ等排出量を1年間の日数と彦根市の人口で割ったもの
※2 リサイクルできたごみの量を年間のごみ等排出量で割ったもの

市民参加型のごみ減量・リサイクルをめざして

市では、適正なごみ処理とリサイクルを推進するため、さまざまな取り組みを進めています。



●簡易生ごみ処理の普及

各家庭で「ボカシ(※)」を用いた生ごみ処理をされる団体と契約を行い、各家庭での生ごみの堆肥化を推進しています。
※生ごみを微生物によって発酵させ、生ごみの原形を「ぼかす」もので、ぼかした生ごみは堆肥になります。

●リサイクル活動推進事業奨励金

自治会やPTAなどの団体が実施する古紙や古着の集団回収に対して、奨励金を交付しています。

問い合わせ先 困生活環境課 ☎ 30-6116、FAX27-0395

●ごみの出前講座

自治会や市民団体、学校などへ、ごみの出前講座を行っています。
普段わかりにくいごみの分別や、市のごみの現状について説明しています。

●施設見学会

市内の小学4年生を対象に、ごみ処理の現場やリサイクルの学習のための施設見学会を開催しています。
また、一般の人の施設見学を受け付けています。(予約制)

●ひこねエコフェスタへの参加

滋賀県立大学「湖風祭」の中で開催する「ひこねエコフェスタ」に参加しています。ごみの分け方や問題について、学生や会場を訪れた市民の皆さんに情報発信しています。今年は11月12日(土)、13日(日)に開催されます。ぜひご来場ください。



申込・問い合わせ先 困清掃センター ☎ 22-2734、FAX24-7787

彦根市は、残念ながら人口に対するごみの排出量が大変多い現状があります。県下で最も多いといわれると、少しずつでも改善努力に力を入れたいものです。市では担当の皆さんが様々な工夫でごみ処理現場での対応を進めていただいています。3つのRの取り組みを進めることが最も重要で、市民の皆様一人ひとりのご協力とご参加が必要不可欠です。

ごみ処理に多額の税金が投入されていることを考え、是非ともオール彦根で3つのR運動を加速させたいものだと願っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

強い彦根へ
私の思い

彦根市長 大久保 貴

3つのR、リデュース・リユース・リサイクル(発生抑制・再利用・再生利用)をご存知でしょうか。地球環境に配慮した生活のキーワードです。

チェック! できていますか? 正しいごみの出し方



生ごみの水切りはしっかりと

生ごみの約90%は水分です。
余分な水を切ることで、処理費用の削減のほか、生ごみの臭いやごみ出しが重くて大変という悩みも解決できます。



家庭で簡単! 水切りで生ごみダイエット

- ▶野菜は皮をむいてから洗う
- ▶水切りネットを使う
- ▶ごみに出す前のひとしぼり

水切りネットの口を不要なCDに通し、
CDの上から押さえると、直接生ごみに触らず水が切れます!



ごみと資源 正しく分別を

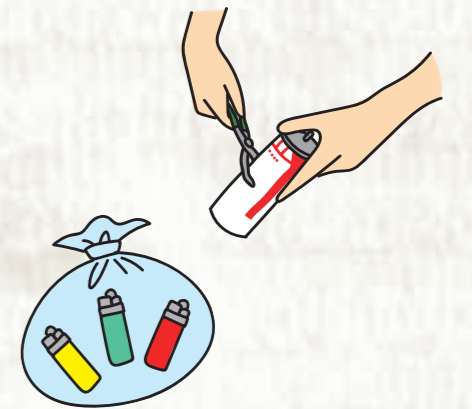
古紙や衣類、びん類、缶・金属類などは、正しく分別することで貴重な資源となります。
古紙や衣類は、地域などで行われる資源回収なども利用してください。



スプレー缶やライターは使い切ってから

埋立ごみにスプレー缶などが混入していると、車両火災の原因になります。スプレー缶は、穴を開けて缶・金属類で出すことで、資源としてリサイクルできます。

ライターは、埋立ごみの日に指定専用袋とは別の透明の袋に入れて集積所に出すか、困生活環境課、困清掃センター、支所、各出張所にある「ライター専用回収箱」に入れてください。



搬入の際は、ごみの種類と住所が確認できるもの提示をお願いします

困清掃センターは、市内から出る一般廃棄物を処理する施設です。他市町からのごみは受け入れていないため、運転免許証などで住所の確認をしています。

みなさんのご協力をお願いします。

詳しいごみの出し方などは、困清掃センターから配布している「新・ごみ等の分け方・出し方豆知識」をご覧ください。(困清掃センター、困生活環境課、支所、各出張所で配布しています)

また、ごみの分別がわかりにくい場合はお気軽に困清掃センターまでお問い合わせください。



伝統的工芸品産業技術者表彰を受けられる皆さん

地域経済振興課

金箔押 美弘さん
宮本 美弘さん



彫刻 信一さん
井尻 信一さん



組立 富子さん
宮川 富子さん



彦根を代表する地場産業の一つであり、経済産業省の伝統的工芸品に指定されている彦根仏壇。

市では、彦根仏壇の製造に従事し、優れた技術を持つ皆さんを表彰しています。

40回目を迎えた今年は、10月8日(土)から10日(月・祝)まで開催される「七曲がりフェスタ」で、同9日(日)に上記の皆さんを表彰します。

問い合わせ先 地域経済振興課 ☎30・6119番、FAX 24・9676番

10月24日(月)～同28日(金) 搬入できません 粗大ごみ

清掃センター

清掃センターでは、粗大ごみ処理場の補修工事を行います。工事期間中は、事業活動に伴って発生した粗大ごみと一般家庭からの多量の粗大ごみは搬入できません。

なお、一般家庭からの少量の粗大ごみと有料戸別収集は受け付けますが、できるだけ粗大ごみの搬入は控えてください。また、ご協力をお願いします。

問い合わせ先 清掃センター施設係 ☎24・2455番

10月は浄化槽月間です

生活環境課

浄化槽とは、微生物の働きを利用して、家庭のトイレや台所などから出る汚れた水をきれいにする装置です。きれいになった水は、側溝や水路に排水され、その後、川や琵琶湖に流れていきます。

浄化槽の働きが適正に維持されていないと、汚れたままの水がそのまま流れ出てしまい、周辺の環境を悪化させてしまう恐れがあります。

年一回の法定検査を受けましょう

法定検査とは、浄化槽の維持管理が適正に行われているか確認する検査です。この検査は、浄化槽を設置した後3～8か月の間と、その後、年に1回受検するよう浄化槽法に定められています。



3879番、FAX 24・2850番
有料戸別収集について 同管理係 ☎22・2734番、FAX 24・7787番

彦根市子ども・若者総合相談センターを開設します

子ども・若者課

近年、子ども・若者をめぐる環境が悪化し、ニート・ひきこもりなど社会生活を円滑に送ることが困難な子ども・若者の問題が深刻な状況にあります。

市では、10月3日(月)から子ども・若者が健やかに育っていくために、子ども・若者の総合相談窓口を開設します。

相談は無料で、相談員が常駐します。また臨床心理士によるカウンセリング(毎週火曜日・予約制)なども実施します。

内容 就労や自立への支援・相談、情報の提供など
日時 月曜日から金曜日 午前9時～正午、午後1時～同5時(土、日、祝、年末年始を除く)
対象 子ども・若者(おおむね39歳まで)とその保護者
場所 福祉センター(平田町)3階

問い合わせ先 子ども・若者課 ☎49・2251番、FAX 26・1768番
10月3日以降 園子ども・若者総合相談センター ☎47・3001番、FAX 26・1768番

差し押さえた土地をインターネットで公開します

納税課

市税の滞納処分のため差し押さえた土地を、入札によって売却(公売)します。今回はヤフー官公庁オークションによるインターネット公売になります。

物件情報
▼所在 里根町字中島188番地21
▼地目 宅地
▼地積 205・77平方メートル
見積もり額 350万円
公売保証金 35万円
参加申込期間 9月28日(水)～10月14日(金)
入札期間 10月21日(金)～同28日(金)

公売場所 インターネット公売(ヤフー官公庁オークション koubai.auctions.yahoo.co.jp)



し、期限内に適正に処理する必要がありま。

事業所の電気室、キュービクル(高圧受電設備、倉庫などを点検し、届出ができていない場合は、お問い合わせください。

問い合わせ先 環境社会推進課 ☎077・528・3474番、FAX 077・528・4845番

登録銃剣類

園教育委員会文化財保護課

美術品、骨とう品としての火縄銃などの古式銃や刀剣類は、銃砲刀剣類所持等取締法により登録することが義務づけられています。

登録されていない銃砲・刀剣類は、所持することや他人への譲渡もできませんので登録をしてください。登録審査の日程は次のとおりです。

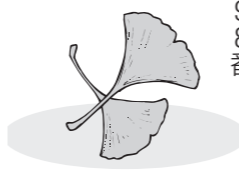
問い合わせ先 納税課 ☎30・6109番、FAX 22・1398番

市民生活に役立つ 情報誌を発行します

秘書政策課

市役所各課での手続きの流れ、防災・子育て・健康・福祉など市民の日常生活に必要な不可欠な情報をまとめて掲載した「彦根市暮らしの便利帳(2017年版)」を発行します。この冊子は、株式会社サイネックス(大阪市中央区)と彦根市の協働事業として発行するもので、発行、配布にかかる経費は、冊子に掲載する広告収入で賄います。体裁はA4判「広報ひこね」と同じ大きさ(約160×170ページ)、来年3月頃に発行し、市内の全世帯に配布するとともに、今後彦根市に転入する皆さんにも園市民課などの窓口でお渡しすることとしています。

問い合わせ先 秘書政策課 ☎30・6103番、FAX 22・1398番



オータムジャンボ宝くじ
お求めは、滋賀県内の売り場で! 1枚300円
発売期間 9/26(月)～10/14(金)
(公財)滋賀県市町村振興協会

不動産の相続登記のお願い

滋賀県司法書士会

相続した不動産について、相続登記がされないまま放置されることで、思わぬ不利益を受ける可能性があります。

【例】相続が2回以上重なり、法定相続人の調査に相当な時間がかかり、すぐに売買できない。

無料相談会を開催していますのでお問い合わせください。

問い合わせ先 園滋賀県司法書士会・総合相談センター (土、日、祝を除く午前9時～午後0時15分、午後1時～同5時) ☎077・527・5576(彦根会場)

市内の保育施設一覧

施設名	場所・連絡先	新規 募集人数	(参考) 昨年度		施設名	場所・連絡先	新規 募集人数	(参考) 昨年度	
			募集人数	申込人数				募集人数	申込人数
市立西保育園	長曾根町8-21 ☎22-1194	30	25	30	ノゾミ保育園	本町一丁目8-20 ☎22-6011	20	25	40
市立東保育園	安清町8-4 ☎22-1394	25	25	46	めぐみ保育園	高宮町1755 ☎26-5791	20	15	41
市立ふたば保育園	金剛寺町101 ☎28-2405	35	35	68	るんびに一保育園	河原一丁目1-4 ☎26-1230	25	25	36
城南保育園	西今町285-1 ☎22-2582	55	55	55	彦根乳児保育所★	中藪二丁目2-6 ☎22-5768	15	20	22
日夏保育園	日夏町2634-1 ☎28-0614	25	25	19	どんぐり保育園	川瀬馬場町1149-1 ☎25-5110	15	15	23
花田保育園	甘呂町473-2 ☎28-0580	10	15	15	森の子保育園	野瀬町106 ☎23-4918	20	15	47
多景保育園	須越町1154-5 ☎28-0681	10	15	21	旭森乳児保育園★	野田山町1099-1 ☎30-3387	10	10	9
旭森保育園	東沼波町498-2 ☎22-2658	45	35	68	レイモンド 大藪保育園	大藪町2655 ☎47-5945	20	10	45
鳥居本保育園	鳥居本町1445 ☎23-6091	15	20	17	ほいくえん ももの家だいち	小泉町395-7 ☎47-5500	20	15	42
東山保育園	里根町235 ☎22-5162	15	15	24	こだまそよかせ保育園	正法寺町26-4 ☎22-0415	20	10	32
亀山保育園	賀田山町272-2 ☎25-1209	10	15	20	どんぐりけんだいまえ 保育園	八坂町3248 ☎25-5110 (どんぐり保育園)	30	-	-
しあわせ保育園	南川瀬町1195-1 ☎28-0581	20	25	48	(仮称)市立平田 認定こども園	平田町303-1 ☎23-9597 (園幼児課)	60	-	-
稲枝ふたば保育園	本庄町2647 ☎43-2053	20	15	34	聖ヨゼフ幼稚園 (2・3号認定)	立花町2-24 ☎22-5376	15	20	10
ことぶき保育園	上岡部町503 ☎43-2057	15	15	23	ほほえみ園	古沢町181 ☎22-3332	5	10	2
みづほ保育園	稲部町400-1 ☎43-4394	25	20	28	彦根かんがる一 保育園	戸賀町53-3 ☎47-5366 (南児保育室こあら)	19	-	-

▶「★」は0～3歳児対象の保育所です。▶聖ヨゼフ幼稚園(2・3号認定)は2～5歳児対象の認定こども園です。
▶小規模保育事業所は0～2歳児対象の小規模保育事業です。▶「新規募集数」は平成29年3月卒園予定人数を基に算出した人数です。

10月は

臓器移植普及推進月間

骨髄バンク推進月間

臓器移植を希望している患者さんは、およそ13,000人です。しかし、臓器の提供が少なく、多くの人が移植を待ちながら亡くなっています。

臓器提供について考え、家族で話し合い、その気持ちを意思表示しましょう。

臓器提供意思表示カードは、困健康推進課、彦根保健所(和田町)にあります。

問い合わせ先 困健康医療課 ☎ 077-528-3616

毎年新たに10,000人以上の人が、白血病などの血液疾患を発症しているといわれています。そのうち骨髄バンクを介する移植を必要としている患者さんは、毎年2,000人以上です。

移植を待っている患者さんにとって、骨髄バンクの登録が大きな希望になります。

問い合わせ先 困業務感染症対策課 ☎ 077-528-3630、(財)日本骨髄バンク ☎ 03-5280-1789

平成29年度 保育所などの新規利用申込

平成29年4月から保育所、認定こども園の保育所機能、小規模保育事業(以下、保育施設)の利用を希望する児童の申し込みを受け付けます。保育施設は、保護者が利用基準に該当するため、子どもの保育ができない場合に利用できません。

利用基準

- (平成29年4月1日現在)
- ① 保護者が勤めている、家業を営んでいるなど、日常の家事以外の仕事に従事している場合(1か月の就労時間が48時間以上必要)
 - ② 母親が妊娠中か、出産後間がない場合(産前2か月～産後6か月)
 - ③ 保護者が疾病にかかり、もしくは負傷し、または、心身に障害がある場合
 - ④ 同居または長期間の入院などをしていて親族を常時介護、または看護している場合
 - ⑤ 保護者が火災、風水害などの被害に遭い、その復旧に

あたるっている場合

- ⑥ 求職活動(起業準備を含む)を継続している場合(保育認定の期間は3か月)
 - ⑦ 保護者が就学している場合
- 保育認定
保育施設を利用するためには、子どもの年齢や利用基準に応じた保育認定を受ける必要があります。

保育認定の区分

- ▼2号認定 3歳以上
 - ▼3号認定 3歳未満
- いずれも、保護者の就労や疾病などにより、保育を必要とする子どもであること
※各認定区分は、さらに保護者のフルタイムの就労を想定した「保育標準時間」(1日8時間までの範囲で、保育を必要とする時間の利用)に分かれます。

利用申込書の受付

10月24日(月)～11月4日(金)
(土・日曜日、祝日は除く)の午前8時30分～午後5時15分に、利用を希望する保育施設(表参照)に申し込んでください。
※受付期間内の申し込みを優先しますので、期間内に申し込んでください。ただし、定員を超える申し込みがあった場合は、期間内の申し込みであっても希望する保育施設を利用できない場合があります。

申込場所

利用を希望する保育施設
※「どんぐりけんだいまえ保育園」への申し込みは、どんぐり保育園へ、「彦根かんがる一保育園」への申し込みは、病児保育室こあらで手続きをしてください。
※(仮称)市立平田認定こども園、市外の保育施設への申し込みと、平成29年度途中からの利用の申し込みは、困幼児課にお越しください。
その他
申込書は、10月11日(火)から

(仮称)平田認定こども園 入園説明会

平成29年4月に(仮称)平田認定こども園を開園します。
認定こども園は、幼稚園機能と保育所機能を併せた、0歳児から5歳児までの子どもたちが生活し、教育・保育を受ける施設です。入園を検討している保護者の皆さんは、説明会にご参加ください。
日時 10月15日(土)午前10時～11時
会場 困福祉センター(平田町)別館2階集団健診室
問い合わせ先 困幼児課 ☎



〈 広告欄 〉

総合住宅リフォーム
住まいのことなら何でもおまかせ!!

屋根・外壁 塗装 月々 **5,000**円～(ローン有)

(株)三共 【本社】彦根市和田町41-11
【支店】近江八幡市十五町339-6-102

☎0120-272-852



23・9597番、FAX 26・1768番

市営住宅 入居者を募集します

募集する住宅

一般向け：中藪団地	1戸 (世帯)
芹川団地	1戸 (世帯)
稲枝西団地	1戸 (単身可)
ひとり親向け：東沼波団地	1戸 (世帯)

申込書配布開始日 10月5日(水)
申込期間 10月12日(水)～同21日(金)
入居決定の時期 12月上旬頃
入居できる時期 12月中旬以降
申込・問い合わせ先 市営住宅課
 ☎30-6123、FAX24-8517



※本人または同居(同居予定を含む)の家族が、市営住宅課(市役所2階)に申込書などを提出してください。申し込みには条件がありますので、詳しくは事前にお問い合わせください。

「暮らしのアイデア展 研究大会」作品

参加賞を贈ります。〈主催〉彦根市地域婦人団体連絡協議会
 〈申込・問い合わせ先〉市教育委員会生涯学習課(〒522-0001 尾末町1-38) ☎24・7974番、FAX23・9190番 ※市教育委員会などにある申込用紙に必要事項を書いて、申し込んでください。



臨時福祉給付金と障害・遺族年金受給者向け給付金の申請が始まります

10月3日(月)～平成29年1月31日(火)
 対象の人には「お知らせ」と「申請書」を送付します。
▶臨時福祉給付金 1人3,000円
対象 平成28年度の市民税が課税されていない人(課税されている人の扶養親族などや生活保護受給者を除く)
▶障害・遺族年金受給者向け給付金 1人30,000円
対象 平成28年度臨時福祉給付金の対象者のうち、障害基礎年金や遺族基礎年金を受給している人(高齢者向け給付金<30,000円>を受給した人を除く)
問い合わせ先 市臨時給付金支給室(8:30～17:15(木曜日は19:00まで 10月のみ土曜日は9:00～12:00))
 ☎0120-1528-90、FAX22-1398

必	▶本人確認書類※1 ▶口座確認書類※2
要	障害・遺族年金受給者向け給付金の該当者のみ ▶障害・遺族基礎年金の受給確認書類※3
書	※1 運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード(写真付)、マイナンバーカード(通知カードは不可)、健康保険証などの写し(支給対象者全員分、有効期限内のもの)。外国人住民の場合は、在留カードまたは特別永住者証明書の写し。
類	※2 金融機関名、店名、口座番号、口座名義人(カナ)がわかる通帳やキャッシュカードの写し ※3 年金振込通知書(6月に発行されたもの)、年金証書などの写し

※本人以外の方が窓口で申請する場合は、代理人の本人確認ができる書類を提示してください。

消費生活センターつうしん

第93回

クーリングオフ適応除外でも諦めないで 最近の相談情報をお伝えします

突然、家に事業者が来て、「自宅で学力検定を受けられるので申し込まないか」と勧誘を受けた。
 子どもが同検定を受けたいと言ったので、事業者に言われた通りに、申込書に住所、名前(子どもの名前)、自宅の電話番号を書いて1,500円を支払った。
 事業者から「今度は、結果報告に伺います。その時は、机のある部屋に通してほしいです。」
 と言われたことが気になった。
 事業者が帰った後、インターネットで調べてみると、同検定の報告時に高額な教材を購入させられた人がいるとの書き込みを見つけた。
 個人情報伝えてしまったが、削除してほしい。また、同検定をやめたいので可能ならば返金してほしい。

相談者は、突然の事業者の訪問であつたため、申し込み時、冷静に時間をかけて考えることができなかつた事例です。
 消費者が申し込みの撤回、または契約の解除を行うにはクーリングオフ制度を利用するのが一般的です。しかし、クーリングオフができる取引は法律や約款で定めがある場合に限られます。今回の事例のように現金1,500円を支払った場合は、適用除外(3千円未満の現金取引)となります。消費生活センターからは、相談者に個人情報削除依頼を添えたクーリングオフ通知書を業者に出すことを助言しました。
 通知を受け取った事業者は、学力検定の申し込みの撤回を了承しました。代金の返金は、後日に普通小為替にて郵送、個人情報の削除についても承諾してくれました。
 今回の事例は、事業者が消費者の要求に応じてくれたケースですが、クーリングオフ適用除外でも申し込みの撤回や契約の解除が出来る場合もあります。
 疑問に思ったことや不安なことがあればお気軽に消費生活センターまでご相談ください。

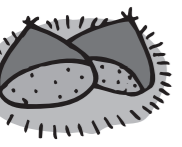
彦根市 消費生活センター
 ☎30・6144番(平日午前9時～正午、午後1時～同4時15分)
 ※今後の相談に役立てるため、相談受付時に住所、氏名、電話番号、性別、年齢、職業などの個人情報をお聞きします。差し支えない範囲でご協力をお願いします。

子ども教室 君も失敗しないシェフになれる!

参加賞を贈ります。〈主催〉彦根市地域婦人団体連絡協議会
 〈申込・問い合わせ先〉市教育委員会生涯学習課(〒522-0001 尾末町1-38) ☎24・7974番、FAX23・9190番 ※市教育委員会などにある申込用紙に必要事項を書いて、申し込んでください。

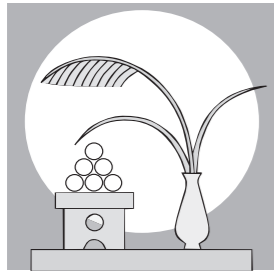
秋の荒神山史跡散策

参加賞を贈ります。〈主催〉彦根市地域婦人団体連絡協議会
 〈申込・問い合わせ先〉市教育委員会生涯学習課(〒522-0001 尾末町1-38) ☎24・7974番、FAX23・9190番 ※市教育委員会などにある申込用紙に必要事項を書いて、申し込んでください。



初めママの子育てセミナー

参加賞を贈ります。〈主催〉彦根市地域婦人団体連絡協議会
 〈申込・問い合わせ先〉市教育委員会生涯学習課(〒522-0001 尾末町1-38) ☎24・7974番、FAX23・9190番 ※市教育委員会などにある申込用紙に必要事項を書いて、申し込んでください。



広告入り窓口封筒の無償提供者

〈内容〉市民の皆さんなど、市役所来庁者が使用する窓口封筒を無償提供できる事業者（無償提供者）を募集します。

〈事業者の条件〉窓口封筒に広告を掲載する広告主を募集し、広告原稿の事前確認や広告主との調整を行うなど、広告掲載にかかる一連の業務を行い、市に窓口封筒を提供できる事業者 無償提供いただくもの

広告入り窓口封筒…来庁者が市民課や税務課などで交付を受けた各種証明書などを入れて持ち帰るための封筒

▼規格・製作予定枚数

角型2号（縦332mm×横240mm）2万7千枚、角型6号（縦299mm×横162mm）6万3千枚

▼広告掲載範囲

封筒の表面積、裏面積のそれぞれ3分の1

▼掲載できる広告の

「ひこね子ども文化」作品

〈募集部門〉短歌、俳句、川柳、詩（1点につき400字詰め原稿用紙2枚以内）※各部門とも題は自由です。

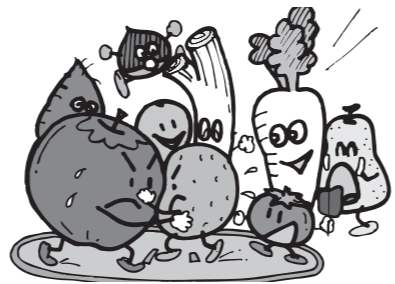
〈応募点数〉部門ごとに1人2点以内

〈対象〉市内在住・在学の小・中学生

〈応募期間〉10月1日（土）～同31日（月）

〈表彰〉部門ごとに特選・準特選・佳作を表彰します。※この事業は「ひこね子ども文化芸術大賞」対象事業です。

〈注意事項〉応募作品は未発表のもので、盗作や類似作品と判明した場合は賞を取り消します。応募作品は返却しません。入賞作品の著作権などは応募者



に帰属しますが、作品集、「広報ひこね」などに掲載します。また、作品集や彦根市ホームページなどに掲載するときに、漢字を標準字体に改めるなど、作品の一部を修正することがあります。優秀作品は、報道機関に作品の情報を提供します。新聞などに作品の掲載を希望しない人は、「掲載不可」と書いてください。

〈応募・問い合わせ先〉

両教育委員会 文化振興室（〒522-0055 野瀬町1-8-7） ☎23-7810番、FAX21-3080番

※作品に①住所②氏名③ふりがな④電話番号⑤学校名・学年⑥部門を書いて、郵送か直接窓口にお持ちください。各学校でも応募を受け付けます。

市立病院職員を募集します ****

職種	人数	受験資格	採用予定日
診療放射線技師	1人	昭和56年4月2日以降に生まれた人 診療放射線技師の免許を有する人（取得見込みを含む）	平成29年4月1日
医療ソーシャルワーカー（有資格者）	1人	昭和51年4月2日以降に生まれた人 社会福祉士の免許を有する人	

試験日 11月13日（日）
受付期間 10月11日（火）～11月4日（金）の8:30～17:15（土・日曜日、祝日は除く）※郵送の場合は、11月4日（金）までの消印有効

受験申込書などの配布場所、受験の申し込み、問い合わせ先 市立病院事務局職員課（市立病院3階） ☎22-6050（内線3516）、FAX26-0754、Eメール syokuinka@municipal-hp.hikone.shiga.jp

彦根市婚活応援事業
プチお見合い in 彦根

結婚したいと思っても、出会いがないとあきらめている人、住みやすい彦根で素敵なパートナーと巡りたい人にとって、出会いのきっかけとなるパーティです。

日時 11月5日（土）14:00～17:00
場所 ビバシティ彦根（竹ヶ鼻町）ビバシティホール
対象 18歳～45歳の独身の男女（学生除く。男性は市内在住もしくは在勤の人）

費用 男性2,000円、女性1,000円
定員 60人（男性30人 女性30人）（先着順）
申込開始日 10月1日（土）
申込・問い合わせ先 ひこね出逢い推進センター ☎30-3355（エフエム彦根内）、Eメール info@fmhikone.jp ※参加希望の人は、①住所②氏名③年齢（生年月日）④連絡先⑤勤務地をEメールで申し込んでください。

お宝が見つかるかも
Eコマース「夢畑」

日時：10月10日（月・祝） 9:30～15:30
場所：県立彦根総合運動場（松原町 元気フェスタ会場内）
出店数：60ブース

日時：10月16日（日） 9:30～13:30
場所：彦根総合地方卸売市場（安食中町 日曜市会場内）
出店数：30ブース

日時：10月23日（日） 9:30～12:30
場所：JR彦根駅東地区第1号公園（古沢町 彦根駅東地区まちづくりお祭り広場内）
出店数：20ブース

10月23日開催 出店者募集

（10月10日の出店募集は終了、同16日の出店募集は6日（木）までです〈先着順〉。）

費用 500円（1ブース・先着順）
申込期限 10月13日（木）（必着）
申込方法 往復はがきの往復の裏面に①住所②氏名③電話番号④出店品目⑤出店者人数⑥搬入に使用する車両番号⑦出店希望日、返信の表面に①住所②氏名を書いて申し込んでください。
申込・問い合わせ先 両生活環境課（〒522-8501 元町4-2） ☎30-6116、FAX27-0395

ウィズマルシェ2016 出店者

〈出店例〉飲食（軽食、スイーツ、カフェなど）、食品、農産物販売、雑貨・手芸品、衣料のほか、美容・健康、ワークショップなど会場で行えるもの

〈開催日〉12月3日（土） 午前10時～午後3時30分

〈場所〉両男女共同参画センター「ウィズ」（平田町）館内・軽運動室

〈定員〉館内10ブース、軽運動室32ブース

〈費用〉500円

（1ブース）〈申込期限〉10月15日（土）（必着）

〈その他〉窓口、市ホームページにある募集要項の内容を確認して申し込んでください。

〈申込・問い合わせ先〉両男女共同参画センター「ウィズ」（〒522-0004 平田町670） ☎・FAX 24-3529番、Eメール with.hikone@oboe.ocn.ne.jp

※申込・問い合わせ先については、電話またはメールでご確認ください。

平成29年度鳥居本学園（小中一貫校）新入学生

〈内容〉鳥居本学園（小中一貫校）に入学する児童・生徒を募集します。

〈対象〉市内に住民登録のある平成29年度小学校入学生および中学校入学生

〈定員〉各20人程度

〈申込期間〉12月12日（月）～平成29年1月24日（火）

〈その他〉詳しい内容は、問い合わせ先をご覧ください。市ホームページでご確認ください。

〈申込・問い合わせ先〉

〈申込・問い合わせ先〉両教育委員会学校教育課 ☎24-7973番、FAX23-9190番

シニア対象「講習会」

〈内容〉警備技能講習（対象）県内在住で55歳以上の人の〈受講料〉無料（交通費・昼食代は自己負担）

〈その他〉会場・定員、講習期間、受講条件、申込締切日や面接日時などはお問い合わせください。

〈申込・問い合わせ先〉公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会（〒520-0054 大津市逢坂1-1-1） ☎077-525-4128番、FAX 077-527-9490番

※近くのハローワーク、シルバー人材センターにある申込書に必要事項を書いて、FAXか郵送で申し込んでください。



不要になったお仏壇引き取ります

大きいお仏壇（幅1M以上）¥35,000～ その他 お洗濯・・・大仏150万円～移動、部分修理承ります。ご相談ください。

小さいお仏壇（幅60CM以下）¥8,000～

漆塗り職人 澤仏壇店 彦根市芹川町1463-23 0749-23-4936

相続税・贈与税無料相談会
10月18日（火）午後から開催
ご予約は随時電話受付中 お待ちしております
（初めてのご利用の方に限り1時間まで無料とさせていただきます）

TKC全国会 大辻税理士法人
担当税理士 大辻 正樹・田井 尊之

【彦根事務所】彦根市平田町410-6
TEL 0749-23-6432（直通）
E-mail info@ootuji.com
http://www.ootuji.com/

彦根城表御殿
錦秋 狂言の集い



日時 11月6日(日) 15:00 (17:00 終了予定)
場所 彦根城博物館(金亀町)能舞台
演目・出演者
大蔵流狂言
「粟田口」 茂山千五郎(正邦 改メ)、井口竜也 ほか
「舟船」 茂山逸平、網谷正美 ほか
「胸突」 茂山千作(千五郎 改メ)、茂山 茂 ほか
入場料(全席指定)
A席 3,500円 B席 3,000円
発売開始日 10月6日(木)
彦根城博物館受付と電話でお求めいただけます。
※発売初日のみ、9:00(館内販売)、10:00(電話予約)に発売を開始します。

▶大蔵流狂言「粟田口」

販売窓口・問い合わせ(予約)先

彦根城博物館 ☎22-6100、FAX22-6520
※開演時間・演目・出演者などは、都合により、やむなく変更することがありますのでご了承ください。
※彦根城博物館には駐車場がありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

ナターリヤ
の部屋

第28回



私の帰る場所

私は8月に日本で29歳の誕生日を迎えました。ブラジルや日本など、世界のさまざまな国に住んでいる家族や友達から、たくさんのお祝いの言葉をもたらしました。

そのメッセージの中で、深く考えさせられた言葉がありました。それは、日本人の友達から送られてきた言葉で、「ナターリヤは残された日本での生活を楽しんでください」という内容でした。

友達は悪気がないと思いますが、私はメッセージを読んだ後、何かモヤモヤした気持ちになりました。

なぜかという、私が日本に滞在する期間や、日本に住み続ける意思があるかどうか、その友達は知らないはずだからです。日本にいつまでいるかは、自分でもわかりませんが、外国人が「いつか帰国してしまう人」という前提の扱いをされることは、とても寂しく感じてしまいました。

私が来日して、この前提で接してきた人が多くいたと思います。しかし、日本に来る外国人の中で、母

国へ帰る人もいれば、日本で暮らすことを決断をして、日本人と変わらない生活を送っている外国人もたくさんいます。滞在期間を問わず、その人たちは日本人と同じように生活をして、同じように日本社会への義務を果たしています。そのため、日本にいる多くの外国人は、「お客さん」ではなく、「日本社会の一員」として生活しています。日本で生活をしようとしている外国人に対して「一時的な存在の人」という前提を持つと、その人たちがこの社会でどんな役割を果たしているのか、理解できなくなるのではないかと思います。

無論、外国人だけでなく、子ども、高齢者、障害者などのさまざまな人がいて、現在の日本社会の形ができています。日本にいる一人ひとりが、この社会でどんな役割を担っているか、どんな役割を果たしているかということに目を向けると、それぞれを尊重する社会に近づけると思います。

私自身、大好きな日本のために貢献したくてブラジルからやってきました。でも、私の帰る場所は海の向こうにある実家ではありません。ここで生活している間は、私の帰る場所、私のいるべき場所は、「彦根」というまちなのです。

【彦根市国際交流員 ナターリヤ】



ご当地キャラ博 in 彦根 2016

10月15日(土)、同16日(日) 9:00~15:00

各キャラクターゆかりの地の名産品や、キャラクターのグッズなどが買えるブースが設けられるほか、各キャラクターのPRステージが2日間かけて開催されます。

場所 彦根市中心市街地商店街一帯
問い合わせ先 ご当地キャラ博 in 彦根 2016 事務局
☎22-1130、FAX22-1139



交通規制にご協力ください

安全にイベントを実施するため、開催当日、次のとおり、一部の区間が歩行者専用道路になります。

- 夢京橋キャスルロード
「本町一丁目」交差点から「京橋」交差点の手前まで
- 彦根城内
「京橋」交差点から県立彦根東高校・大津地方裁判所彦根支部前の城内分岐路まで
- 四番町スクエア内
「お客様駐車場」を含む全域(一部を除く)
(いずれも交通規制時間 8:00~16:00)

※京橋口・本町市営駐車場は閉鎖

14日(金)15時から16日(日)撤収後まで閉鎖されます。

自家用車での来場はできるだけ控えてください

イベント期間中は、市内外から多くの来場者があり、会場付近の混雑が予想されます。自転車も駐輪場が混雑する恐れがありますので、徒歩またはバスを利用してください。

先着 400人
無料でびわ湖産
ワカサギの甘露煮
を提供!

彦根市場
「日曜日」



▲多くの人でにぎわう会場(昨年)


日時 10月16日(日)午前9時30分~午後1時30分
場所 彦根総合地方卸売市場(安食中町)
内容 マグロの解体ショー(午前9時45分、同10時15分)、鮮魚類、地場野菜、果物の販売、関連店舗による大売り出し、海鮮井の販売、「ひこねの食育」を紹介
問い合わせ先 彦根総合地方卸売市場(株) ☎25-25118番、FAX28-17118番
「ひこねの食育」の紹介について 圃健康推進課 ☎24-0816番、FAX24-5870番



行事名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
絵画・山田裕吉展	開催中～平成29年1月13日(金)	高宮駅コミュニティセンター(高宮駅)	モノクロで人物などを描いた現代アート作品を展示します。 ☎090-2137-9721(山田さん)
立体・竹下綾乃展覧会			フィギュアなどの立体造形作品を展示します。 ☎090-6242-3366(馬場さん)
特別公開 旧井伊神社本殿、相の間および拝殿	10月8日(土) 10:00～15:00	井伊神社(古沢町)	職員が本殿などの説明をします。 ①10:00②11:00③13:30 ※駐車場は佐和山史跡公園駐車場を利用ください。 ☎教育委員会文化財課☎26-5833、FAX26-5899
元気フェスタ2016 ウォーキング大会	10月10日(月・祝) 9:00～12:00	県立彦根総合運動場(松原町)	受付でコースマップを受け取って、佐和山周辺コース(約4km)をそれぞれのペースで歩きます。(小学生以下の参加は保護者同伴) 申込方法:電話かFAXで申し込んでください。 申込期限:10月5日(水) ☎健康推進課☎24-0816、FAX24-5870
介護家族のつどい「ほっこり」	10月11日(火) 13:30～15:30	くすのきセンター(市立病院敷地内) 2階医療福祉推進ルーム	認知症などの家族を抱える介護者同士が、日頃の思いを共有したり、情報交換などをしたりする会です。気軽にご参加ください。 費用:200円(茶菓子代、初めて参加の人は無料) ☎医療福祉推進課☎24-0828、FAX24-5870
街中サロン	10月12日(水)、同22日(土) 10:00～15:00	「minto」(株)川地工務店(長曾根南町)	知的障害や発達障害のある人やその家族が、悩みなどを話して情報交換をする場です。気軽に参加し、みんなで交流しましょう。 NPO法人彦根育成会☎24-8624、FAX49-3656
滋賀大マルシェ 環境こだわり農産物 秋の収穫祭	10月14日(金) 11:30～13:30	滋賀大学(馬場一丁目) 生協前広場	県内の生産者が、環境こだわり農産物や心をこめて育てた新鮮で安全な野菜、果物、加工品などを販売します。(小雨実施) 滋賀大学社会連携研究センター☎27-1141
荒神山公園 福祉歌謡コンサート	10月14日(金) 13:30～	荒神山公園 野外ステージ(日夏町)	歌謡ショーや、よし笛で楽しい時間を過ごします(雨天中止)。 高木・技研特別共同体☎21-3923
ひこねで朝市	10月16日(日) 8:00～12:00	滋賀県護国神社境内(尾末町)	「食の安全」「地産地消」「手作り」を掲げ、地場野菜、豆腐、醤油、湖魚料理などを販売します。 ひこねで朝市実行委員会(ひこね市民活動センター内) ☎24-4461、Eメール hikonedeaichi55@gmail.com
彦根市精神障害者家族会「集まろう会」	10月18日(火) 13:30～16:00	障害者福祉センター(平田町)	精神障害者の家族が集まり、情報交換や学習会をします。 ☎障害福祉課☎27-9981、FAX26-1767
元気21歩こう会	10月21日(金) 13:30～15:30(集合13:30)	集合場所:みずほ文化センター(田原町)	彦根神社や付近の史跡を文化財課職員の解説を聞きながら歩きます。費用:100円(保険代など) 「ひこね元気クラブ21」事務局(☎健康推進課内) ☎080-2944-4281、FAX24-5870
青少年のための科学の祭典2016	10月22日(土)、23日(日) 10:00～16:00	滋賀県立大学 交流センター(八坂町)	県内で理科教育に携わっている教員や、大学や民間などで研究する人々による実験や体験型のブースが多数あります。 滋賀大学教育学部(神山さん)☎077-537-7750
第37回滋賀県高等学校総合文化祭 総合発表会	10月22日(土) 13:30～(開場12:30)	滋賀県立文化産業交流会館(米原市) イベントホール	県内高校生による文化芸術活動の発表です。合唱、吹奏楽、などのステージ発表、書道、写真、美術工芸などの作品展示があります。定員:500人 滋賀県高等学校文化連盟(彦根工業高等学校内) ☎28-2231、FAX28-2936
彦根駅東地区まちづくりお祭り広場	10月23日(日) 10:00～12:20	彦根駅東地区第1号公園(古沢町)	「東中学校吹奏楽部」による演奏のほか、ヨーヨーつり、カロム、けん玉やお楽しみ抽選会などを行います(雨天中止)。 彦根駅東地区まちづくり委員会事務局(☎市街地整備課内) ☎30-6126、FAX24-5211
男性介護家族のつどい	10月23日(日) 13:30～16:00	くすのきセンター(市立病院敷地内) 2階医療福祉推進ルーム	認知症などの家族を抱える男性介護者の語りの場です。男性同士で話しませんか。気軽にご参加ください。 費用:200円(茶菓子代、初めて参加の人は無料) ☎医療福祉推進課☎24-0828、FAX24-5870
甲良養護学校 第21回学習発表会	10月28日(金) 9:40～14:30 10月29日(土) 9:45～13:30	県立甲良養護学校(犬上郡甲良町金屋)	ステージ発表や作品展示など、特別支援学校に通う子どもたちの日頃の学習成果を発表します。 県立甲良養護学校☎38-4880、FAX38-4885
落語deメンタルヘルス～笑いは心のクスリ!～	11月19日(土) 14:00(開場13:30)	ひこね市文化プラザ(野瀬町) エコホール	上方落語を存分に楽しんで、思いっきり笑いましょう。 出演:笑福亭生喬(せいきょう)、笑福亭たま、笑福亭生寿(せいじゅ) 費用:前売2,500円(発売中)、当日3,000円 NPO法人サタデーピア☎23-8896、FAX46-3361

市立図書館
創設100周年記念プレミアム講演会

作家
舟橋聖一氏の
検証



内容 第1講「井伊直弼とマッカーサー～舟橋聖一『花の生涯』前夜～」

日時 10月23日(日) 14:00(受付:13:30)

場所 市立図書館(尾末町)第1集会室

講師 石川 肇さん(国際日本文化研究センター)

費用 無料

定員 50人(先着順)

申込開始日時 10月1日(土) 10:00

申込・問い合わせ先 市立図書館☎22-0649、FAX26-0300

秋の市民音楽祭

市内の音楽団体による演奏会を行います。合唱、吹奏楽、管弦楽によるすてきな歌声や音色をぜひお楽しみください。

日時 10月16日(日) 13:00(開場12:30)

場所 ひこね市文化プラザ(野瀬町) エコホール

団体(出演順) コールほなみ、混声合唱「i」、女声合唱 彦根水すまし、彦根市民合唱団フィルハーモニック Shiga、彦根混声合唱団、合同合唱、陵水フィルハーモニー管弦楽団、ひこね第九オーケストラ、スカーレット・ウインド・オーケストラ、滋賀県立大学吹奏楽部、滋賀大学オーケストラ

費用 無料

問い合わせ先 彦根市民音楽祭実行委員会(古川さん)☎23-0391



主催:彦根市・彦根市教育委員会
問い合わせ先 ☎教育委員会文化振興室☎23-7810、FAX21-3080

【10月の行事】(一部11月の行事を含む)

行 事	期 間	時 間	会 場	入場料
渡辺貞夫&リチャード・ポナ in ひこね	10月1日(土)	18:00(開場17:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
押花の会 なごみ押し花アート展&池坊ミニ花展	10月7日(金)～9日(日)	9:30～16:30(9日は16:00まで)	市民会館・ギャラリー	無料
ひこね市民大学講座 芸術学部「ニッポン画 伝統と現代の融合」	10月9日(日)	14:00(開場13:30)	文化プラザ・メッセホール	有料
彦根JOYジュニアオーケストラコンサート	10月9日(日)	14:00(開場13:30)	文化プラザ・エコホール	無料
彦根市立図書館創設100周年記念式典	10月10日(月・祝)	13:15～16:15	文化プラザ・グランドホール	無料
みずほ文化センター TSUKEMEN LIVE 2016	10月10日(月・祝)	15:00(開場14:30)	みずほ文化センター多目的ホール	有料
第66回彦根菊花大会	10月11日(火)～11月13日(日)	8:00～17:00(11月13日は15:00まで)	護国神社境内	無料
彦根史談会 なつかしいわが家のグッズ展・民具展	10月14日(金)～17日(月)	9:30～16:30	市民会館・ギャラリー	無料
鼓童 ワン・アース・ツアー2016 ～螺旋	10月15日(土)	18:00(開場17:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
「ひこね文芸 第35号」発表大会・講演会	10月15日(土)	13:30～16:30	東地区公民館	無料
中地区公民館「みなく～る」文化祭	10月15日(土)・16日(日)	10:00～16:30(16日は15:00まで)	中地区公民館	無料
第46回暮らしのアイデア展・研究大会	10月15日(土)・16日(日)	15日13:00～17:00、16日9:00～16:00	文化プラザ・メッセホール	無料
秋の市民音楽祭	10月16日(日)	13:00(開場12:30)	文化プラザ・エコホール	無料
第60回彦根写真連盟展と西村社中呈茶席	10月20日(木)～23日(日)	10:00～17:00(23日は16:00まで)	文化プラザ・メッセホール	無料
彦根山草会 秋の展示会	10月22日(土)・23日(日)	9:00～17:00(23日は16:30まで)	市民会館・ギャラリー	無料
彦根ゆかりのアーティストシリーズ 田島茂代ソプラノコンサート	10月23日(日)	14:00(開場13:30)	文化プラザ・エコホール	有料
第37回滋賀県高等学校総合文化祭写真展	10月27日(木)・28日(金)	9:00～17:00(28日は11:30まで)	文化プラザ・メッセエコホール	無料
第42回彦光会洋画展	10月28日(金)～30日(日)	9:30～16:30(30日は16:00まで)	市民会館・ギャラリー	無料
第66回諸国民踊めぐり	10月29日(土)	13:30(開場13:00)	文化プラザ・エコホール	無料
春日文化祭	10月29日(土)・30日(日)	29日13:00～17:00、30日9:00～15:00	人権・福祉交流会館	無料
西地区公民館文化祭	10月29日(土)・30日(日)	9:00～16:00(30日は15:30まで)	西地区公民館	無料
東地区公民館文化祭	10月29日(土)・30日(日)	9:00～16:00(30日は15:00まで)	東地区公民館	無料
第9回直弼杯将棋大会	10月30日(日)	10:00(受付9:30)	彦根商工会議所・大ホール	無料
彦根三曲協会 箏・三絃・尺八演奏会	10月30日(日)	13:30(開場13:00)	文化プラザ・エコホール	無料

10月24日(月)まで

参勤交代と彦根藩領-大名行列を迎えた人々-

江戸時代の大名は、参勤交代の道中領内を通っていく他の大名に対し、無事に通行できるように気を配っていました。他大名を迎えた彦根藩や宿駅の住民に注目し、参勤交代がもたらした人々のつながりを紹介します。

10月28日(金)~11月27日(日)

コレクター大名 井伊直亮

-知られざる大コレクションの全貌-

▼風俗図 (彦根屏風)

井伊家12代の直亮が収集したコレクションは、国宝の彦根屏風をはじめとする書画、雅楽器、更紗裂、刀装具、南蛮渡来品など多岐にわたり、質量ともに大名コレクション屈指の存在です。本展では、このコレクションの全貌を明らかにし、併せて他の大名の収集品を紹介することにより、大名コレクションの特質、さらには大名道具の意味を考えます。



ギャラリートーク

10月29日(土) 11:00~11:30、14:00~14:30

※事前申込:不要 場所:展示室1~3

観覧料が必要

常設展示の名品

常設展示「ほんものとの出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

ほんものとの出会い

11月30日(水)まで 采配(さいはい)



采配とは、戦場で軍を率いる将が、兵に指示を伝えるための指揮具です。この采配は、井伊家初代直政から2代直孝へ伝えられたもの。大坂冬の陣で家臣三浦安久に与えられました。

10月24日(月)~27日(木)は、展示替えのため一部を閉室します。

常設展示の名品

文化プラザだより

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
インターネットでも購入いただけます。 <http://bunpla.jp/>

2017年3月26日(日)14:00 メッセホール
キネマと音楽の昼下がり



映画黎明期の日本で独自に発達した話芸「活弁」と、現代的センスとテクニックを備えたサクソフーン・ピアノ・パーカッションの生演奏が、古き時代の名作映画を生き生きと蘇らせる、現在進行形のパフォーマンスです。

上映予定作品:「ジャックと豆の木」「チャップリンの冒険」「大学は出たけれど」(小津安二郎監督)他

自由 [11月5日(土)9:00発売]

一般 1,800円、高齢者・障害者 1,600円
学生 1,000円、友の会 1,500円

※未就学児は入場いただけません。
※託児サービスがあります。

2017年2月
プラザフェスティバル2017

今年度も市民の皆さまが普段活動されている舞台芸術活動の成果を発表する場としてプラザフェスティバル2017を開催します。各部門開催日が決定しましたのでお知らせします。

- 【児童劇部門】 2017年2月 5日(日)
- 【舞踊部門】 12日(日)
- 【バレエ部門】 18日(土)
- 【クラシック部門】 19日(日)
- 【チャレンジ部門】 25日(土)
- 【邦舞・邦楽部門】 26日(日)

出演者募集の詳細は広報ひこね11月1日号の募集ページに掲載します。

チケット販売について

【各公演 発売初日の予約の取り扱い】

※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

10月の休館日 3日(月)、11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)

◎表記のチケット価格は、すべて税込価格です。

◎高齢者は65歳以上です。学生、高齢者、障害者のチケットはひこね市文化プラザチケットセンター窓口のみの販売となります。

◎託児は、子ども1人1,000円です。公演の10日前までにお申し込みください。

ときの玉手箱

博物館からのメッセージ



第242回

彦根藩の「馳走」

参勤交代は、江戸幕府の代表的な政策の一つです。全国の大名が1年おきに江戸と国元を往復し、江戸幕府の将軍との主従関係を定期的に確認するものです。この政策が実施されたことにより、江戸時代は大名たちが全国を行き交うことになりました。

参勤交代の道中、西国や北陸の大



▶「馳走」を行うためのマニュアルにあたる古文書

名たちは彦根藩領を通っていくことがありました。領内を通る大名に対し、彦根藩井伊家では、「馳走」という行為をして迎えていました。現代では豪華な食事という意味で用いられる言葉ですが、本来は走り回ること、転じて世話をすることという意味があります。彦根藩では領内を通る大名の世話に奔走していたということになります。

交通の要地に位置した彦根藩領を通る大名は多かつたため、藩としては誰に対してどのような「馳走」をするのか、基準を定めておく必要がありました。写真の古文書(「諸御大名様井伊御役人中様方御通行之節宿々馳走(ちそう)覚(おぼえ)」)は18世紀後半のもので、「馳走」の内容を記したマニュアルにあたるものです。おそろしく、「馳走」を統括していた筋奉行の周辺で用いられたものと考えられます。

井伊家と同格の高松藩松平家を例に、具体的な「馳走」の内容をみていきましょう。ここでの「馳走」の

内容は、さまざまな役割の藩士を派遣し、無事に領内を通過できるように取り計らうことでした。宿駅に詰め、馳走を統括した筋奉行の指揮下で多くの足軽が派遣され、宿内の火の番や掃除の見廻りなどの役割を果たしていました。筋奉行をはじめ、彼らは他の大名が領内を円滑に通過できるように、それぞれの役割を担っていたと考えられます。これとは別に、大名のもとに使者が派遣されることがありました。こちらは、大名を接待する目的で派遣されていたと考えられます。

「馳走」の内容は、大名によって微妙な差異が存在しました。さらに、マニュアルに現れず、「馳走」の対象になつていなかった大名も少なくありませんでした。こうした程度の差は、幕府の権威、大名の格、井伊家との関係の親疎など、さまざまな要素を判断材料にして決定されていました。なかでも幕府の権威は絶対的で、老中などの役職に就いている

大名には、他の要素に関係なく丁重な「馳走」が行われました。

参勤交代が制度化されていた江戸時代、「馳走」は街道沿いの各地で広く行われました。大名たちは、定期的に領内を通っていく他の大名に対し、円滑に通過できるように自発的に「馳走」を行っていたと考えられます。いわば大名同士の好意に基づくものでした。一方で、幕府の権威を背負った者には必ず丁重な「馳走」が行われたことも重要です。幕府や将軍を頂点とする武家社会の序列が反映されているからです。「馳走」からは、幕府と大名の関係、大名同士の関係を読み解くことができ

写真の古文書は、企画展「参勤交代と彦根藩領-大名行列を迎えた人々-」で10月24日(月)まで展示します。(期間中無休)

(彦根城博物館学芸員 松浦智博)



健康だより

健康推進課(八坂町 彦根市立病院敷地内・くすのきセンター2階)
☎24-0816、FAX24-5870

市民健康診査

血圧が高いこと、脂質や血糖の値が高いことは、血管の壁を傷め、動脈硬化を進行させます。動脈硬化が進むと、血管が詰まったり、破れやすくなったりすることで、心筋梗塞、脳卒中、腎不全などの深刻な病気を引き起こす原因になります。これらの病気の多くは、進行するまで自覚症状がありません。年に1回、健康診査を受けて体の状態を知りましょう。

対象 彦根市に住民登録があり、次の要件に該当する人(年齢は、平成29年3月31日が基準)

▶**健康診査**(内容は、問診、身体測定、腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査、内科診察)

- ①昭和52年4月1日～平成10年4月1日生まれの人
- ②昭和16年6月2日～昭和52年3月31日生まれの生活保護受給者(彦根市に住民登録が無く、在住している人を含む)

▶**肺がん検診**
昭和27年4月1日～昭和52年3月31日生まれの人

▶**結核健康診断**
昭和27年3月31日以前生まれの人

▶**肝炎ウイルス検診**
①40、45、50、55、60歳の人で、過去に市の肝炎ウイルス検診を受けていない人(対象者には、5月下旬に案内を送付しています)

②①の年齢を除く41歳以上の人で、過去に市の肝炎ウイルス検診を受けていない人(検診の1週間前までに健康推進課へ電話かFAXで申し込んでください)

日時	実施日	場所	受付時間
10月18日(火)	高宮地域文化センター		9:30~11:00
			9:00~11:00
10月26日(水)	ひこね 燦ばれす		13:00~14:30
10月27日(木)	ひこね 燦ばれす		9:00~11:00
10月31日(月)	中地区公民館		9:30~11:00

※10月26日(水)午前の部、同27日(木)は、女性のための検診
詳しくは、広報ひこね5月15日号と同時に配布した「平成28年度彦根市健康診査・がん検診のお知らせ」をご覧ください。

申込・問い合わせ先 健康推進課

ビバシティで健診を受けることができます

日時 10月8日(土) 10:00~11:30
場所 ビバシティホール(ビバシティ彦根2階)
対象者

▶**特定健診** 40歳以上で国民健康保険に加入している人

▶**健康診査** 19歳~39歳で市内在住の人

▶**胸部レントゲン検査** 40歳以上で市内在住の人

※いずれも年齢は年度末年齢

定員 80人(先着順)

持ち物 受診費用、受診券、問診票、被保険者証(国民健康保険の人)

問い合わせ先

▶**特定健診に関すること**
健康保険年金課 ☎30-6112、FAX22-1398

▶**健康診査、胸部レントゲン検査に関すること**
健康推進課 ☎24-0816、FAX24-5870

10月はがん検診受診率50%達成のための強化月間
市では、がん検診を実施中です。今年度まだ受診していない人は、**がん検診予約専用電話(☎24-3719)**に電話してください。

骨粗しょう症予防教室 **美骨レッスン**

骨粗しょう症の予防には、毎日の食事、運動など生活習慣が大切です。この機会に参加してみませんか。

日時 10月28日(金) 9:30~12:00(受付9:20~9:30)

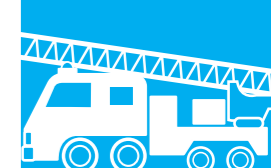
場所 くすのきセンター1階
内容 美骨ストレッチ&カルシウムアップ食べ合わせ術の話

定員 50人(先着順。定員になりしだい終了)

費用 無料
※運動ができる服装でお越しください(上靴は不要。裸足で実施します。)

申込・問い合わせ先 電話かFAXで、健康推進課に申し込んでください。※FAXの場合は、①「美骨レッスン希望」②氏名③住所④生年月日⑤電話番号を書いてください。

消防だより



彦根市消防本部予防課 ☎22-0332・FAX22-9427

ガス器具からの出火に注意

最近では、調理器具や給湯設備などの電気式が普及してきましたが、ガスコンロやカセットコンロ、瞬間湯沸かし器など、直火を使用するガス器具は生活の中で欠かせないものになっていきます。ガス器具を使用する時は、取扱説明書をよく読んで、使用方法を守って安全に使用しましょう。

▼**ガス器具の正しい取り扱い**
目を離した際に、鍋などが過熱されて発火する可能性があります。調理中はその場を離れないようにしましょう。食用油の過熱による出火は、毎年出火原因の上位です。揚げ物をするときは特に注意しましょう。新しいガスコンロには、全てのバーナーに安全装置が付いています。安全装置の付いてない古いコンロは取り替えるようにしましょう。

▼**グリルなどが汚れて油が溜まると、過熱される**

▼**調理中にコンロの火が袖口に燃え移った事例があります(※着衣着火)**。コンロの火が衣服のすそや袖口などに着かないように注意しましょう。

▼**コンロの周りには燃えやすいものを置かないように**しましょう。

▼**調理中にコンロの火が袖口に燃え移った事例があります(※着衣着火)**。コンロの火が衣服のすそや袖口などに着かないように注意しましょう。

▼**奥にある鍋を取ろうとしたり、換気するためコンロ越しに窓を開けようとして、手前にあるコンロの火が袖口や裾に着いた。**

▼**たき火をしていて火が風に**

高齢者世帯防火診断

消防本部では、高齢者を火災から守ることを目的として、毎年、秋の火災予防運動の一環として、高齢者世帯防火診断を実施しています。

この防火診断は、消防職員が高齢者世帯宅を訪問し、電気やガスなどの火気使用や取扱状況、住宅用火災警報器などの設置状況を診断し、高齢者世帯の防火意識の高揚と出火防止を図るものです。

日頃、防火について不安や疑問を持っている人は、民生委員児童委員に防火診断を依頼してください。また、民生委員児童委員から診断の推薦依頼を受けた場合は、ぜひ、この機会に防火診断をお受けください。



▲昨年の防火診断

【対策】
あおられ衣服に着火した。火が衣服に着かないように注意して、燃えにくい防災品を使用するなどの対策をしましょう。火が着いてしまったら、水をかけて消火するか、近くに水がない場合は、その場に倒れて手で顔を覆い左右に転がり、消火しましょう。

■使用後のガスライターの出火防止
最近、消防本部管内でゴミ収集車の荷台の収集物が燃える火災があり、収集物の中から使い捨てライターが見つかっています。中身の残ったガスライターやスプレー缶は、収集作業中に容器から残ったガスが漏れたり、ライターが点火状態となり火災となってしまうことがあります。ごみ収集車の火災は、車両だけでなく、人身や周囲の住宅にも被害が及ぶ可能性があります。危険です。中身を使い切って処分するようにしましょう。

..... < 広告欄 >

柁席からイス席にリニューアルしました。
滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール内 特設舞台

長栄座

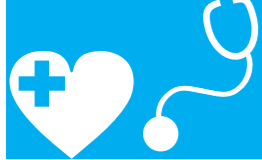
祈願・歓喜 11月12日(土) 15時開演
〜慈愛の歌・喜びの唄〜

入場料 一般 2,000円 25歳以下 1,000円
全席自由 ※当日は500円増し

演目 真言聲明、梅花流御詠歌、ミサ曲「主よ、いざわれに」、狂言語り「モグラの婿取り」

梅花流師範詠会

滋賀県立文化産業交流会館
米原市下多良2-137
☎0749-52-5111



健康だより

すくすく ベイビー

健康推進課(八坂町 市立病院敷地内・くすのきセンター2階)
☎24-0816、FAX24-5870



小森羽花ちゃん
(高宮町)



横前大翔ちゃん
(竹ヶ鼻町)



内崎楓ちゃん
(四日町)



10月から 乳児のB型肝炎ワクチンが定期接種になりました

B型肝炎ウイルスは、人の肝臓に感染し、炎症を引き起こします。感染の時期や健康状態によっては、一過性感染で終わる場合と、6か月以上にわたって感染が持続する持続感染(※キャリア)となる場合があります。持続感染の10%~15%は、感染から年月を経て慢性肝炎を発症し、その後肝硬変や肝臓がんを発症することになります。

B型肝炎は、主にB型肝炎ウイルスを含む血液あるいは体液との直接接触によって感染します。B型肝炎の予防接種を実施し、肝炎だけでなく肝硬変や肝臓がんも防ぎましょう。

※キャリアとは B型肝炎ウイルスを体内に持ち、持続的に感染している人

接種対象者 市内に住民登録があり、平成28年4月1日以降に生まれた1歳の誕生日の前日までの乳児

※HBs抗原陽性の母親から生まれた乳児で、母子感染予防のため抗HBsヒト免疫グロブリンの投与に併せて、B型肝炎ワクチンを接種している場合については対象外になります。

接種回数 3回 ※10月1日以前に任意接種として既にB型肝炎ワクチンの予防接種を受けたことがある場合は、残りの回数を1歳未満で受けることができます。

標準接種スケジュール <1回目> 生後2か月以降 <2回目> 1回目の接種から27日以上の間隔をあけて接種 <3回目> 1回目の接種から139日(約20週)以上の間隔をあけて接種

実施方法 予約制(指定医療機関に予約) 指定医療機関は、個別に通知している案内、市ホームページなどでご確認ください。

持ち物 母子健康手帳、予診票(医療機関に設置してあります)

その他 対象年齢の乳児には、個別に案内を郵送します。母子健康手帳を確認して、必要な回数分を接種してください。市外の医療機関(県内)で接種を希望する場合は、事前に健康推進課にお問い合わせください。(申請がないと接種できません)

問い合わせ先 健康推進課

パパママ学級

赤ちゃんのお世話(お風呂、おむつ交換、だっこの仕方)や交流会をします。

日時 10月30日(日) 9:30~12:00(受付9:15~9:30)

場所 くすのきセンター1階

対象 市内に住民登録のある妊娠24週以降の夫婦

定員 18組(申込者多数の場合は、予定日が近い人、第1子の人を優先します)

持ち物 母子健康手帳、父子健康手帳

申込期間 10月3日(月)~同13日(休)

申込方法 健康推進課に電話かFAX。

QRコード対応の携帯電話を使って申し込むこともできます。

※託児はありません。



栄養相談

☆管理栄養士による食生活改善アドバイス☆

健診結果を確認されましたか? 血圧、血糖値、中性脂肪などが高かった人は、ぜひこの機会と一緒に食生活を見直してみませんか。

日時 10月21日(金)、11月7日(月) いずれも9:00~、10:30~(予約制、各1人)

場所 くすのきセンター2階

※上記のテーマ・日時以外にも、さまざまな栄養相談を受け付けています。

問い合わせ先 健康推進課



健康だより

健康推進課(八坂町 市立病院敷地内・くすのきセンター2階)
☎24-0816、FAX24-5870

高齢者 インフルエンザ予防接種

インフルエンザワクチンは、予防接種を受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、効果の持続期間は約5か月間といわれています。接種を希望する人は次の事項に注意して、流行する前に受けておくことをお勧めします。

対象 市内に住民登録がある以下の人

- ①接種当日65歳以上の人
- ②彦根市から連絡がある人(接種当日60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人【身体障害者手帳1級相当】)

実施方法 下表の指定医療機関に予約をして接種。本人が希望する場合のみ行います。

自己負担額 1,390円(接種料金4,620円との差額は市が負担します)生活保護受給者は無料(事前に送付するインフルエンザ無料票を持って受診してください)

接種回数 1回

実施期間 10月1日(土)~12月28日(水)(予約受付期間は医療機関により異なりますので、各医療機関にご確認ください)

指定医療機関(五十音順)

医療機関名	住所	電話番号	医療機関名	住所	電話番号
足立レディースクリニック(女性のみ)	佐和町5-41	22-2155	田中クリニック	開出今町1516-18	27-1611
池田クリニック彦根(かかりつけのみ)	大東町9-16上野ビル本館2階	24-3555	塚本医院	後三条町361-8	27-0101
いけだ耳鼻咽喉科	西今町948-5	27-3317	つじ泌尿器科クリニック	西今町1131-23	23-7714
石島医院	城町二丁目6-23	22-0598	堤医院	原町850-179	24-0533
伊藤整形外科	西今町1041-18	23-7787	徳田医院	出路町218-1	43-7001
おおし内科循環器科クリニック	後三条町649	30-3800	なかつか内科医院	川瀬馬場町1082-5	29-0981
岡田医院	橋向町44	22-1505	中西医院	芹橋二丁目9-14	22-1152
おがわ耳鼻咽喉科クリニック	古沢町181近江鉄道ビル1階	22-8799	中橋整形外科クリニック	高宮町1793-3	26-5088
おくの内科	本町一丁目4-28	21-3355	成美記念クリニック	賀田山町1405-3	28-1323
かさい整形外科	中央町3-56	21-2201	西川医院	鳥居本町1732	22-3887
きたむら内科医院	長曾根南町448-25	22-9617	橋本医院	上西川町384	43-2207
橘地医院	栄町二丁目6-47	23-2057	馬場医院	高宮町3020	28-3360
KKCウエルネスひこね健診クリニック	古沢町181	24-3011	はやし婦人クリニック(女性のみ)	竹ヶ鼻町658	26-0528
小林医院	京町二丁目7-38	22-0247	彦根中央リハビリテーションクリニック	西今町923	22-7005
小森医院	旭町2-18	22-2714	ひまわり診療所	平田町230-10	27-2473
坂田整形外科	清崎町288-37	28-3737	ふじせき医院(かかりつけのみ)	高宮町2037	23-2233
しみずクリニック	中央町3-55	21-3525	藤野こどもクリニック	戸賀町36-6	47-5311
白石外科	肥田町915	43-5651	ふせクリニック	地蔵町190-8	46-3711
しらいし耳鼻咽喉科	金沢町586-4	43-6500	松木診療所	平田町678-10	22-5185
神野レディースクリニック	中央町3-73	22-6216	松本医院(月、金午前中のみ)	日夏町3662	28-0633
神野レディースクリニックアリス(女性のみ)	八坂町2888-1	29-9025	宮下内科	芹橋二丁目9-56	22-0383
菅原メンタルクリニック	大東町9-16上野ビル本館2階	21-0840	安澤内科診療所	高宮町2290	22-0954
杉本整形外科(かかりつけのみ)	東沼波町1013-1	30-0055	山崎外科	河原三丁目1-20	22-1888
すみよしクリニック	小泉町106-1-103	30-1835	山下医院	長曾根町5-25-1	24-5290
せい医院	京町三丁目4-48	27-1521	横野医院	大敷町2035-4	24-1515
曾我医院	清崎町878	28-2925	わだ医院	野良田町330-31	47-6850
高崎医院	西葛籠町164	28-0210			
たかはし整形外科(かかりつけのみ)	長曾根南町395-7	27-6296	彦根中央病院	西今町421	23-1211
高村外科(かかりつけのみ)	中央町3-10	22-0650	友仁山崎病院	竹ヶ鼻町80	23-1800
高山内科循環器科	日夏町2680-35	28-7007	豊郷病院	犬上郡豊郷町八目12	35-3001
田口診療所	彦富町905-3	43-6600	彦根市立病院	八坂町1882	22-6050
辰巳医院	西沼波町269-18	22-1180			

国宝・彦根城築城410祭

～直虎、直政からの継承、そして未来へ～

開催期間 平成29年3月18日(土)
～同12月10日(日)

来年は、彦根城の天守が完成して410年を迎えます。それを記念して、「国宝・彦根城築城410年祭」を盛大に開催します。

彦根城をはじめとする彦根のまちの歴史、文化や伝統など、彦根の魅力を全国、世界に発信します。

期間中は、彦根城内や市内全域で特別企画を開催します。

問い合わせ先 国宝・彦根城築城410年祭推進委員会事務局
(⌚築城410年記念事業推進室内) ☎30-6143、FAX22-1398

公式ロゴマーク



築城410年祭

開催まで、あと168日

Light & Art Festival Dramatic Legacy

歴史遺産で発信するものがたり

近江国・彦根市 + 多賀町「城あかり 神あかり」

彦根市と多賀町が誇る歴史遺産を活かし、光とアートで新たな魅力を発信します

彦根城では、美しいライトの数々が、夜の白壁や石垣を未だかつてない規模とクオリティでドラマティックに彩ります。いろは松から望む佐和口多聞櫓や、表門・黒門・京橋などが暗闇に映え、見応えのある和の芸術的オブジェに様変わりします。

同時期に多賀町・多賀大社でもライトアップします。

期間 10月1日(土)～12月31日(土) (日没～22:00)

場所 彦根城、内堀 (内堀のみ22:00まで)

問い合わせ先 彦根商工会議所 ☎22-4551 ホームページ <http://dramatic.oh-mi.org/>



▲イメージ図

9月10日から25日まで、「玄宮園で虫の音を聞く会」が行われました。
観光客からは、月夜に浮かび上がる彦根城を楽しみながら、風情ある庭園で、秋の訪れを告げる虫の音に耳を傾けていました。
開催期間中は、お茶席が設けられ、雅楽などの演奏も行われました。10日には琴の演奏があり、ゆったりとした時間が流れる中、美しいハーモニイを奏でています。

虫の音で感じる秋の気配

表紙の写真



人口と世帯数

平成28年9月1日現在

人口	112,674人 (-60)
男	55,661人 (-23)
女	57,013人 (-37)
世帯数	46,221世帯 (-66)
() 内は前月との比較	